

審議会委員のご意見・ご提言及び対応のまとめ表

【対応方針の区分】

(A) 計画の文言を追加又は修正するもの

・総合計画案に意見や提言に関連する記述がない又は、内容を充実させた方がよいと思われる提案について、該当部分を追加、修正して記述するものです。

(B) 答申書に付記するもの

・総合計画案に意見や提言に関連する記述があるが、特に重要な項目について委員の提案内容を答申書に付記するものです。

(C) 計画を推進する際留意するもの

・総合計画案に意見や提言が記述されているが、今後、総合計画を展開していく上で委員の提案内容が十分反映されるよう、計画の推進に当たって留意するものです。

番号及び 対応方針	意見・提言の内容（上段）及び対応の内容（下段）
序 論	
1 (A) 計画の文言 を追加又は 修正するも の	<p>計画を推進する上で、PDCA をどのように回していくのか、具体的な進め方を詳しく記載した方が良いのではないかと。</p> <p>【関係箇所】 P6 3計画の推進</p> <p>【対応】 P6で掲げる「計画の推進」について、「本計画を着実に進めるため、基本計画の個別施策ごとに目標値を設定し、目標の達成状況等を<u>砺波市総合計画審議会による外部の視点及び“となみ創生”まちづくり本部会議等の内部の視点から毎年度点検・評価して、その結果を各年度の具体的実施事業を定める総合計画実施計画に反映させることで改善を図ります。</u>」に修正します。</p>
2 (A) 計画の文言 を追加又は 修正するも の	<p>P17に満足度・重要度の表について、施策タイプⅡの満足度重要度ともに高い項目は、まさに砺波市の特徴となるべき項目であり、現状維持だけでは物足りず、さらなる展開を進めるべきではないかと。</p> <p>【関係箇所】 P17 ④施策に対する満足度と重要度</p> <p>【対応】 P17の「④施策に対する満足度と重要度」について、満足度が高く、重要度も高いエリアの施策は砺波市の強みといえる施策であり、今後もさらなる施策推進に努めるべきものであることから、『今後の重要度が高いが、現在の満足度も高いため、「現状維持を図るべき項目」』を『<u>現在の満足度が高く、今後の重要度も高いため、「さらに推進を図るべき項目」</u>』に修正します。</p>

基本方針 1 ともに輝き支えあう 人づくり	
<p>3 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>10WAVE の「子育て応援プロジェクト」に関して、産み育てるという言葉が使用されているが、子育ては小学校へ就学するまでだけではない。出産率の低下は、保育所の充実だけで解消されるものではなく、成人となる年齢までの切れ目のない公的支援も必要ではないか。</p> <p>【関係箇所】</p> <p>P41 「WAVE1 子育て応援プロジェクト」</p> <p>P48～50 「個別施策 1 学校教育の充実」</p> <p>P51 「個別施策 2 幼児教育・保育の充実」</p> <p>P82～83 「個別施策 14 障がい者（児）福祉の推進」</p> <p>P88～90 「個別施策 16 妊娠・出産・子育て支援の充実」</p> <p>【対応】</p> <p>P88 の施策の方向にあるように、妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援体制の充実を図ることとし、例えば、P89「②子育て支援サービスの充実」では、子育て支援医療費助成（中学 3 年生まで）や児童手当の支給など、P85 では、ひとり親家庭の福祉の充実（医療費助成は高校卒業まで）、P49「②地域とともに育てる学校教育の推進」では、高校・大学等の就学に対する奨学金制度について掲げ、小学校以降の年代へも支援することとしており、計画の推進に当たり留意するものとします。</p>
<p>4 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>「生涯学習の推進」については、学びたい人が学ぶという前提の施策が中心となっているが、例えば環境問題やごみ出しの方法など、社会の一員として生きていく上で成人が学ばなくてはいけないことを学ぶ機会が必要であり、記載すべきではないか。</p> <p>【関係箇所】</p> <p>P56～57 「個別施策 4 生涯学習の推進」</p> <p>【対応】</p> <p>P56「生涯学習の推進」において、「①地域を学ぶ機会の充実」の「情報や機会の提供」、「②学びを充実し生かす仕組みづくり」の「学習の機会をつくる」ことなどを掲げており、地域の課題等について行政がサポートするなど、計画の推進に当たり留意するものとします。</p>
<p>5 (B) 答申書に付 記するもの</p>	<p>人口減少は、市全体として緩やかであると予測されているが、市街地周辺で増えている一方、市街地から離れた場所では減少しているなど、二面性がある。特に旧庄川町は 10 年で 1,000 人以上減少し、地域コミュニティが衰退しており、二面性への対応が必要である。</p> <p>【関係箇所】</p> <p>P63～64 「個別施策 7 地域コミュニティの活性化」</p> <p>【答申書に次のとおり付記する】</p> <p>各自治振興会等を中心とした地域の取組みや地域資源を生かしながら、地域コミュニティの活性化に対する支援を推進し、地域の特性を生かした発展と地域力のさらなる強化に努められたい。</p>

<p>6 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>三世代同居だけではなく、同じ集落内の近居であれば、地域コミュニティも維持できるなど、同居と同じくらいの効果があると思われるため、三世代近居も推進すべきである。</p> <p>【関係箇所】 P41 「WAVE3 三世代同居推進プロジェクト」 P65～66 「個別施策 8 三世代同居の推進」</p> <p>【対応】 本市の三世代同居推進事業では、同じ敷地内及び隣接地であれば別棟（近居）であっても事業の対象としているところである。また、今年度中には、同居の取扱いについて検討することとしており、計画の推進に当たり留意するものとします。</p>
<p>7 (B) 答申書に付 記するもの</p>	<p>三世代同居率の現状値、目標値ともに 22.9%と同率となっているが、三世代同居は人口増に直結するため、行政としても補助事業を推進し、現状維持ではなくもっと目標値を高く設定することも必要ではないか。</p> <p>【関係箇所】 P41 「WAVE3 三世代同居推進プロジェクト」 P65～66 「個別施策 8 三世代同居の推進」</p> <p>【対応】 目標値については、三世代同居率など、現状値とH33年度の値が同じ数値のものがあるが、これは現状が減少傾向にあるため、施策の充実により下げ留めることを目標としているものであります。</p> <p>【答申書に次のとおり付記する】 人口対策として、家庭内での子育てや高齢者介護など世代間で支え合う機能が期待される三世代同居を積極的に推進し、豊かで持続力のある地域社会づくりを進められたい。</p>
<p>8 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>移住定住に関して、約 20 年前に住宅団地が市内各地で造成されており、現在はその時の子供が所帯を持つ年代となっている。その人達が市外へ流出しないような施策が重要であり、空き家等の活用を推進して、人口流出を防止するような施策が必要ではないか。</p> <p>【関係箇所】 P70～71 「個別施策 10 移住・定住の促進」①IJU ターンの促進 P100～101 「個別施策 20 自然環境・景観の保全」</p> <p>【対応】 定住人口の増加に向け、P70 では、空き家情報バンクの活用、P100 では空き家の有効利用などの空き家対策を進めることを掲げており、計画の推進に当たり留意するものとします。</p>

基本方針2 なごやかな暮らしを育む 安心づくり	
<p>9 (A) 計画の文言 を追加又は 修正するも の</p>	<p>子育て支援の充実について記載があるが、育児放棄や虐待等が多くなっていることを危惧している。地域の宝である赤ちゃんができたとわかった時から、近所や地域での声かけや見守り活動を行っていくべきであり、子育て支援ボランティアに対しても行政の後押しが必要である。</p> <p>【関係箇所】 P88～90 「個別施策 16 妊娠・出産・子育て支援の充実」</p> <p>【対応】 P89の「③子育てと仕事の両立支援」に関する取組について、意識啓発のほかに支援の充実の視点も加え、「地域住民が子育てへの関心や理解を深め、地域全体で子育て家庭を支えることができるよう意識啓発を図ります。」に、「<u>図るとともに、地域で活動する子育て支援団体や活動組織を広く紹介し、支援してまいります。</u>」を追加し補強します。</p>
<p>10 (B) 答申書に付 記するもの</p>	<p>人口減が一番の問題であり、経済の衰退や活力の低下、住民負担の増加につながる。砺波市は住みよさランキング全国3位であり、買い物や交通の利便性もあり、転入という点では環境も良いと思うが、自然増を目指すには子育て支援が重要であり、人口対策には長期的なビジョンが必要である。</p> <p>【関係箇所】 個別施策 16 妊娠・出産・子育て支援の充実</p> <p>【答申書に次のとおり付記する】 人口の自然増を目指して、結婚、妊娠、出産、子育て、就労などへの切れ目のない支援体制を強化し、安心して子供を産み育てることができる環境づくりに一層努められたい。</p>
<p>11 (A) 計画の文言 を追加又は 修正するも の</p>	<p>防災力の強化に関して、災害時の情報伝達には、より地域のメディアとの連携が必要になると思われる。また、市民に緊急時には地域のメディアから災害情報を得られることを周知する必要がある。</p> <p>【関係箇所】 P42 「WAVE6 防災力強化プロジェクト」 P93～96 「個別施策 18 防災力、消防・救急救助体制の充実強化」</p> <p>【対応】 P94「③地域防災対策の充実」に関する取組について、「災害時の情報伝達手段並びに男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営及び防災拠点施設の整備を推進します。」をメディアとの連携及び情報取得の視点も加え、「<u>災害時の緊急メールサービス、報道機関との連携など情報伝達体制の整備を進めるとともに、災害情報の取得手段について市民等への周知を図ります。</u>」及び「男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営及び防災拠点施設の整備を推進します。」とし、追加・補強します。</p>

<p>12 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>降雪量の多い地域には、それに見合った行政からの除雪対策に対する支援が必要ではないか。</p> <p>【関係箇所】 P93～96 「個別施策 18 防災力、消防・救急救助体制の充実強化」</p> <p>【対応】 P 95「⑨除雪対策の推進」に関する取組について、「冬期間においても子供や高齢者が安全で安心して生活できるよう、地域ぐるみの除排雪体制の確立を図るとともに、除雪機械オペレーター養成のための支援を行います。」としており、地域に応じた除雪体制に配慮しながら、計画の推進にあたり留意するものとします。</p>
<p>基本方針3 みらいに活力をつなげる まちづくり</p>	
<p>13 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>ここ 50 年の砺波市の発展の礎は、道路整備と区画整理への公共投資であったと思う。区画整理事業などで市街地が順次拡大されてきているが、場所によっては以前ほどのにぎわいがなくなっているところもあるため、そのようなところへ再度公共投資を行っていけばどうか。</p> <p>【関係箇所】 P109～111 「個別施策 24 都市基盤の整備」</p> <p>【対応】 P 109 都市基盤の整備に係る施策の方向では、「道路交通網や歩道の整備、橋梁などの維持管理を図るとともに、土地区画整理事業の推進、砺波チューリップ公園の再整備、上下水道事業の適正な運営など、安心して快適に暮らせる都市基盤の整備を進めます。」としており、バランスのとれた市街化に配慮しながら、将来を見据えた計画的な都市形成を図るよう、計画の推進にあたり留意するものとします。</p>
<p>14 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>庄川地区には、庄川水記念公園、小牧ダム、庄川ウッドプラザなどといった観光施設、水まつりや観光祭などの観光イベントがあり、観光を担う団体・人材も豊富である。もっと庄川地区の観光振興を進めてはどうか。</p> <p>【関係箇所】 P130～132 「個別施策 32 観光資源の魅力創出」 P133～135 「個別施策 33 観光情報発信・受入体制の充実」</p> <p>【対応】 P 131「③観光資源の充実」、P 132「④歴史・文化の活用」では、庄川温泉郷や庄川峡遊覧船、庄川水記念公園、小牧ダム、夜高行燈など魅力ある資源の活用を掲げており、さらなる集客を進め庄川地域を含めた市域全体の観光振興に繋げるとともに、地域住民が観光客をもてなす機運の醸成を図るよう、計画の推進にあたり留意するものとします。</p>

<p>15 (C) 計画を推進 する際留意 するもの</p>	<p>ゆるキャラなど全国どこを見ても同じような情報発信を行っているため、同じやり方では埋もれてしまう。地域で活動する団体等を積極的に活用するなど、もっと斬新な切り口でのプロモーションが必要ではないか。</p> <p>【関係箇所】</p> <p>P42 「WAVE4 魅力情報発信強化プロジェクト」 P70～71 「個別施策 10 移住・定住の促進」 P133～135 「個別施策 33 観光情報発信・受入体制の充実」</p> <p>【対応】</p> <p>P70「①IJU ターンの促進」及びP133「①情報発信の充実」では、本市の魅力を広く国内外に発信するシティプロモーションについて掲げており、地域住民が地元に着や誇りを持って自らもシティプロモーションを行っていただけのように働きかけるなど、計画の推進にあたり留意するものとしします。</p>
<p>共通方針 協働と持続可能な自治体経営</p>	
<p>16 (B) 答申書に付 記するもの</p>	<p>物事を決める場には男性が多く、女性や若い人が少ない。様々な視点からの意見を取り入れるために、やる気のある人が参画できるような環境作りが必要である。</p> <p>【関係箇所】</p> <p>P137～138 「個別施策 34 市民と行政の協働の推進」②行政への市民参画の推進 P139～140 「個別施策 35 人権尊重・男女共同参画の推進」②男女共同参画の意識づくり</p> <p>【答申書に次のとおり付記する】</p> <p>各種計画の策定段階から、あらゆる世代・立場の市民の参画とニーズの把握に努めるとともに、市民と行政が一体となって、市民協働によるまちづくりを積極的に進められたい。</p>